

科目	精神看護演習
時間数	1単位 30時間
授業時期	2年
講師名	毛利智恵美 八塚愛未 鈴木勝年 福田光 河野誠
ねらい	精神看護の基本技術と患者ケアの実際を学ぶ。
目標	1. 精神科における身体ケアの実際を学ぶ。 2. 治療法で必要とされる援助技術について学ぶ。 3. コミュニケーション技法を用いて、関係性をアセスメントすることの必要性を学ぶ。 4. 地域生活を支えるためのシステムと社会資源を学ぶ。
1	1. 精神科における身体ケアの必要性と回復状態に応じた身体ケアの実際(12章) ・精神科における身体ケア
2	・精神科における身体を通じた看護ケアの実際 ・精神科の治療に伴う身体ケア
3	
4	2. オレム・アンダーウッドモデルを用いた看護過程の展開(事例演習) ・グループワーク
5	・発表
6	3. 患者看護師間の感情体験 — 困難事例の検討を通して * 関係のアセスメント — プロセスレコード(事例)を活用した困難事例の検討を通して
7	— コミュニケーション技法を用いたロールプレイヤー (ケアの人間関係8章)
8	4. 地域におけるケアと支援(10章) ・「器」としての地域
9	・地域生活を支えるシステムと社会資源 ・地域におけるケアの方法と実際
10	
11	5. 精神科における社会復帰に向けての援助、地域生活支援の実際 ・精神保健医療福祉に関する施設見学・利用者との交流
12	・発表
13	
14	6. リハビリテーション療法の実際 ・社会生活技能訓練(SST)
15	・環境療法・社会療法
評価方法	事例演習 20%、日報(施設見学)20%、施設見学に関する発表 10%、最終レポート 40%、その他 10%(グループワーク取り組み、課題提出状況等)を総合して評価する。60点以上を及第点とする。
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①,医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②,医学書院 長谷川雅美編:自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード,第3版. 日総研.